

3 各施設の現状

3-1 各種指標等について

1) 類型別の現状で整理している内容

① 概要

サービスの概要や主要な建物の情報など基本的な情報を整理しています。また、施設名、所在、複合区分、運営形態、延床面積、主要な建物の情報（建築年、経過年数、構造・階数、耐震性）を一覧で整理します。複数の建物で一つの施設を構成している場合は、延床面積が最大の建物を主要な建物とすることを基本とします。主な記載項目の考え方は次のとおりです。

表 3-1-1 概要の主な記載項目の考え方

項目	説明	
所在地	所在地（住居表示）を記載しています。住居表示を実施していない区域等一部施設においては、地番で表示しています。	
複合区分	単独：単一の建物内単一の施設のみが存在する場合 複合：同一の建物内に複数の施設が存在する場合	
運営形態	直営：市が直接運営している場合 指定管理：指定管理者制度を導入している場合	
延床面積	当該施設が使用している床面積の合計	
主要な建物の情報	建設年	施設が使用している主な建物の、固定資産台帳における建設年
	経過年数	施設が使用している建物の、平成 29 年末時点での建築からの経過年数
	構造・階数	施設が使用している建物の、固定資産台帳における主体構造及び地上階数 構造：SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）、RC（鉄筋コンクリート）、S※（鉄骨造）、LS（軽量鉄骨造）、W（木造）、CB（コンクリートブロック造） ※軽量鉄骨（鋼材の厚みが 6mm 未満）であるか不明の場合にも「S」としています。
	耐震性	「茨木市住宅・建築物耐震改修促進計画」において、所要の耐震性能を満たしていないとされた建物で、耐震改修が実施されていない建物が存在する施設は空欄。存在しない場合は「○」。

② 施設位置図

主要な道路・鉄道と小学校区を背景として、施設の位置を示しています。なお、施設位置図は各施設間の大まかな配置を表したものであり、実際の配置とは多少ずれがある場合がありますのでご了承ください。

③ 利用の状況

平成 28 年度の施設の利用状況について、施設間で比較可能な項目を指標として設定します。「茨木市統計書」や「事務報告書」において、利用状況に関する統計が存在する施設については、経年的な推移も整理しています。施設間で比較できる統一的な指標がないものについては、利用の状況は省略しています。

なお、稼働率については、施設内の貸室の合計で示しており、詳細（貸室別、時間帯別など）については 3-3 で整理します。

表 3-1-2 利用状況の主な指標例

指標	説明
利用者(件)数	延べ利用者(件)数
在籍者数(生徒、児童、園児など)、定員数	基準日時点での人数
稼働率	貸室において、利用可能なコマ数に対する実際の利用コマ数の割合 ※貸室が3室あり、午前と午後と夜間の3区分で予約可能であれば、1日あたりの利用可能コマ数は9コマとなります。利用コマ数は、実際に利用した数(1室を午前・午後・夜間の終日で利用した場合には3コマ扱い)。

④ 施設に関する総コストの状況

施設に関する費用は、平成 28 年度決算額を基本に、歳出を 5 区分（維持管理費、工事費、運営費、指定管理料、人件費）で示すとともに歳入総額を記載しています。あくまでも市の支出、収入がいくらかという視点で整理しており、指定管理者の利用料金収入等は含みません。それぞれの考え方と具体的な費用項目は下表のとおりです。

表 3-1-3 施設に関する費用に計上する費用

区分	説明
歳出	維持管理費 施設の維持管理に係る費用（光熱水費、修繕費、点検・管理委託費等） ※光熱水費（電気料、ガス代、燃料代、重油代、水道料、その他）、修繕費、点検・管理委託費、保険料、借地費（賃借負担金）、その他
	工事費 施設の改修等のために執行した工事に係る費用 ※工事費
	運営費 施設の運営に係る費用（業務委託費、通信運搬費、備品購入費等）を記載 ※業務委託費、消耗品費、通信運搬費、手数料、原材料費、備品購入費、負担金補助及び交付金、その他（運営費）、使用料及び賃借料
	指定管理料 指定管理者に支払う指定管理料を記載
	人件費 施設の管理運営に係る人件費を記載 ※従事職員数（正規・臨時）に平均給与額を乗じる方法等により算出
歳入	施設の利用に係る使用料・手数料収入のほか、施設で実施している事業における収入、国・府等からの補助金、交付金等による収入の総額を記載

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

施設にかかる費用を施設間で比較するため、利用状況の指標とコスト情報を活用し、単位あたりの市負担コストとして整理します。

比較する「市負担コスト」とは、経常的に毎年発生する費用で比較するという観点から、工事費を除外（関連する補助金収入等も除外）した上で、歳出から歳入を引いた金額を用いて算出しています。

表 3-1-4 単位あたりコストの考え方

区 分	説 明
延床面積 1 m ² あたりの市負担コスト	市負担コストを施設の延床面積で除した値
利用者 1 人あたりの市負担コスト	市負担コストを利用者数等（在籍者、定員数等）で除した値

⑥ 単位あたりの利用状況

施設の利用状況を施設間で比較するとともに、施設規模の余剰等を把握するため、単位あたりの利用状況として整理します。延床面積 1 m²あたりを基本としますが、利用状況や施設規模に応じて、百 m²あたり等でも比較します。

⑦ 今後の課題等

現状等からみた施設の課題や留意すべき事項について整理します。課題については以下の視点で整理しています。

- (1) 施設の規模や老朽化の程度、コスト、利用等、客観的事実から導かれる課題
- (2) 将来的な人口変動の予測を踏まえた課題
- (3) 施設設置当時からの社会経済情勢の変化を踏まえた課題
- (4) 市の諸施策の方向性を踏まえた課題

2) 貸室の利用状況で整理している内容

① 貸室を有する施設一覧

263 施設のうち、ホールや会議室などの貸室を有する施設を一覧で整理するとともに、各施設の位置図を整理します。

② 施設・貸室別、時間別の利用状況

貸室ごとに時間帯別の稼働率を整理します。時間帯の区分は、午前、午後、夜間の 3 区分に換算して比較します。なお、条件を揃えて比較する必要があることから、条例で利用者を限定している貸室は除きます。

③ 地域別、貸室の類型別、施設・貸室の利用状況

地域（施設所在地を通学区域とする中学校区）ごとに貸室の類型別の稼働率を整理します。なお、条件を揃えて比較する必要があることから、条例で利用者を限定している貸室は除きます。

3) その他、掲載データについての留意事項等

- ・端数処理（四捨五入）の関係で、図表等において個々の数値の合計が一致しない場合があります。
- ・複合施設や併設施設（同一敷地内に複数の用途の異なる建物がある施設）などにおいては、施設全体に係る光熱水費等のコストを、主要な施設にまとめて計上している場合があります。